



アクトレス

NO. 78

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ おかげさま



中田 裕子 (俳優)

誰かに、何かに、守られていると感じたことはありますか？

私は、今年2月、松原英治・若尾正也記念演劇賞という立派な賞をいただきました。でも、魅力も実力もまだまだなのに、どうして私だったのか……これはどう考えても、3年前に亡くなった父が、もっと私を精進させるために天国から裏工作をしたとしか思えません。そうなんです、私には守られているとしか思えないことがよく起こるのです。

今だから告白しますが、実は私、授賞式で頂戴した賞状を、な、なんとその日のうちに失くしてしまったのです(ズドン)「乗ったタクシーに忘れたのだ…でも会社がわからない…」(ガビーン) 焦りに焦って、いろいろ問い合わせてみましたが反応もなく、そうこうするうちに約3週間。自分のうっかりぼかん加減に打ちひしがれ(バカバカバカ)、諦めかけた頃、突然警察から夢のような連絡が……(涙涙) その時思いました。これがすぐに出てきたら、私はまた同じような失敗をしたでしょう。でも、ちゃんとお灸をすえられた上で、無事手元に戻ってきた。これはただのラッキーではなく、誰かが何かが私のために思って=守られているのだと…。

それを自覚したのは“生まれて初めての交通事故”の時でした。でも父はまだ生きていたので、ご先祖様か両親の徳のおかげもあるのかもしれない。

6年前、自転車で青信号を走行中、右折車に撥ねられました。かなりの衝撃だったのですが、

全身打撲、5日間の入院ですみました。これは不幸中の幸いということなのでしょうが、私が声を大にして言いたいのは、その時右方向に気になるものがあって、ぶつかる瞬間をまるつきり見ていなかったということなのです。

言い忘れていましたが、私は、かなりの“びっくり屋”です。人が「おっ」とびっくりするところを、「ああおっ」とびっくりするし、家の中で、思ってもいないところで母と出くわそうもんなら「うわおお」と腰を抜かすほどびっくりするので、そのリアクションに母の方がびっくりしています。

なので、言うなれば車のライトに照らし出されて、「あああああー！！」となっていたら、間違いなく撥ねられる前にショック死していたでしょう。ですが私は脳震盪で、救急車に乗ったことすら覚えていないのですから。

長年所属していた劇団を昨年退団したばかりですが、3月に「宮城野」、そして7月NEO企画、9月名古屋市文化振興事業団「國語元年」と、続けて舞台に立たせてもらえることも、そのひとつのような気がします。

周りの方に恵まれ、これまで“おかげさま”で歩んでまいりました。賞をいただいたことも、これまで関わってくださったすべての方に心から感謝しております。運命を切り開いて行くような生き方はできませんが、いいことも悪いこともすべて自分のために与えられていると思うと、案外思い切っていけるもの…そう信じて、これからも演劇活動を続けていきたいと思っています。



「三人姉妹」

'12年 愛知県芸術劇場小ホールにて



'09年 那古野小学校
100周年記念公演

トピックス

■ 創立25年と「深川安楽亭」

深山 義夫 (劇工房創芝社代表・俳優)



1988年に「オッペケベ」という壮士芝居で旗揚げして25年。劇団名の創芝社はその作品名をもじたものです。当初は年2回のペースで公演を行っていましたが10年くらい前からでしょうか、年に1回の公演で、最近では2年に1回とか、20周年からこの25周年では5年間に1回という有様です。25年といっても中身はあまり自慢出来るものではないかもしれませんが、でもそこは継続は力なりといえますから…。

なかなか公演が出来ない理由としては第1に財政の問題。次に人です。やめていく人ばかりで新しい人が入ってこない。残った人間は年寄りばかりなので何か行動を起こそうとするには相当のエネルギーがいります。それこそ「よっこらしょっ」と気合いの入った掛声をかけなくては前へ進むことができません。

でこの度思い切り気合いを掛けて25年を記念して「深川安楽亭」を公演することになりました。この作品には思い入れがありまして、20年

ほど前にある集団の公演で私も出演してやっています。その時は安楽亭の悪どもの兄貴分の「与兵衛」という役をやりました。その時相応しい年齢になったら是非やってみたいと思ったのが悪どもの元締め「幾造」です。私事で恐縮ですが今年還暦を迎えます。私自身も劇団も区切りのいいところでこの公演となった次第です。

また今回は賑々しくバラエティーに富んだゲストが沢山馳せ参じてくれました。その筆頭が元武将隊信長でおなじみのと言えいいか、ドレスカ！でおなじみの憲俊です。「与兵衛」を演じます。信長から与兵衛へ、これも楽しみのひとつです。その他初舞台で主演とかあいち姫隊のお江ちゃんとか、葵武将隊の面々などなど、いろんなメンバーが出演しています。さてさてどんな舞台になるのか、それは観てのお楽しみということで。とにかく気力体力財力が続く限り活動したいと今は思っています。



「つゆのひぬま」「息子」

'10年9月 名古屋市千種文化小劇場にて

■ キャンドル演劇奨励基金の助成作品募集

キャンドル演劇奨励基金(メ〜テレ事業が平成5年に設定)が、平成25年度の助成作品を募集します。愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の舞台公演が対象です。3作品を選考して、各30万円を助成します。募集の要項は下記の通りです。

1. 対象作品: 愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の県内舞台公演 3作品
2. 公演期間: 平成25年10月1日～平成26年9月30日
3. 助成金額: 1作品 30万円
4. 募集期間: 平成25年6月30日(日)まで
5. 応募方法: 所定の申込書を下記へ送付
6. 申込書の請求および送付先: 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託第一チーム
キャンドル基金担当(TEL 03-5232-8908) 申込書ダウンロードサイトアドレスは
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

■ 定期利用の受付について

平成25年度(平成26年4月～平成27年3月)分の定期利用を次のとおり受付いたします。

- * 受付期間/平成25年7月2日～15日(8日は除く。)
- * 対象/演劇の練習
- * 貸出施設/大練習室1・2、及び小練習室1(いずれも4階)
- * 利用方法/利用年度を通じて、月2日以上15日以内(ただし、1週間につき3日以内、同一曜日、同一使用時間区分)、1日につき2区分以内。
- * 利用料金/平成25年9月末日までにお支払いいただきます。

アクテノン利用団体紹介

- ①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 RE-act



Action Produce Company RE-actと申します。読みは『リアクト』

日々、芝居に生きる殺陣、アクションとは何か?と模索しながら、稽古に励んでいます。

『殺陣も芝居、殺陣を演じるのだ』

2012年より、自主公演を年に1回行っております。その他にも、多数の団体に客演、殺陣指導、振付など、名古屋のアクション業界を盛り上げる為、活動しています。『殺陣を演じる』をモットーに、希有な団体を目指し、がんばってまいります。

- ①2010年 ②6名
- ③『レイル』/名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア('12年) 『LIVE』/名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア('13年)
- ④手嶋 政夫/てしままさお
☎070-5404-3789
HP:<http://re-act.main.jp>
E-mail:re-act_info@willcom.com

アクテノンに一言 いつもお世話になっております。ドタバタと騒がしくご迷惑をおかけしますが、これからもよろしくお願致します!

演劇 オムエッグ企画



(いまのところ)名古屋一、女心を浮き彫りにする劇団「オムエッグ企画」です。スクイーズの関戸哲也氏を座付の作演出家としてお迎えし、2012年5月に旗揚げ公演を行いました。個性豊かな6人の女優が殺陣、アクション、歌、ダンス...それぞれの得意分野を持ち寄り、お客様に楽しんで頂けるパフォーマンスを目指しています。

2014年1月には千種文化小劇場での公演を予定しております!

- ①2011年 ②7名
- ③『たまごな彼女』/名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア('12年) 『リトル・グッド・バイ』/名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア('13年)
- ④山本 典子
HP:<http://ameblo.jp/homme-egg/>

アクテノンに一言 演劇練習優先の施設であるアクテノンの存在がとても有難いです。初めて利用した時「わぁ素敵な場所」と思いました。アクテノンで練習するときはやっぱり気持ちの入り方がちょっと違う気がします!

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>劇団サラダ 第21回公演 『宵現 ～よいうつつ～』</p>	<p>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 6月7日(金) 19:00、8日(土) 15:00 19:00、9日(日) 13:00 17:00 ③ 全席自由2,000円 ④ ☎080-1611-3928 info_salad@yahoo.co.jp 家にかえりたくなかったただけなんです...。そんな時ありますよねえ?</p>
<p>劇団Hi-T Growth 第14走 『算段兄弟』</p>	<p>① ナビロフト ② 6月22日(土) 15:00 19:00、23日(日) 11:00 15:00 ③ 一般1,800円(当日2,000円) ペア3,000円 ※要予約 ④ ☎080-9496-8110(劇団) http://www.geocities.jp/hit_growth/ ニヤニヤ笑えてちょっと切ない、土田英生・作の痛快会話劇。梅雨の湿気も爽やかに。</p>
<p>劇団エキサイティングドライブ 『CLEANERS～伝説の掃除屋～』</p>	<p>① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 7月13日(土)、14日(日) ③ 前売900円(当日1,000円) 小学生以下の料金は無料 ④ exciting_drive@yahoo.co.jp 呪われた槍との出逢いが男の運命を変えていく。エキドラが送る吸血お掃除アクション。</p>
<p>演劇襲団海賊船2 特別公演 『臥龍青藍月白奇譚』</p>	<p>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 8月17日(土) 14:00 18:00、18日(日) 13:00 17:00 ③ 前売1,800円(当日2,000円) 学生1,500円 ④ ☎090-7676-0899(劇団) 5年間の修行を経て、海賊船2復活します!</p>



編集発行/平成25年5月25日(年4回)

名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

